

「強み」の活用記録と教師からのフィードバックが

中学生の自己成長感と自尊感情に及ぼす影響

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 生徒指導・教育相談系

宇都木 秀太

本研究は、中学生を対象に「強み」の活用記録と教師による肯定的フィードバックが、自己成長感や自尊感情に及ぼす影響を検討したものである。

研究Ⅰでは、中学生に対し、24のポジティブな人格特性である「強み」の中の「キャラクター・ストレングス」に基づく授業と活用記録、教師による具体的なコメントを実施した。その結果、強みの認識・活用感自体に有意な変化は見られなかったが、自尊感情と自己成長感は有意に向上し、教師の言語的関わりが内面的変容を促す可能性が示された。研究Ⅱでは授業内容の変更に加え、統制群、スタンプ群、コメント群を設定し、比較検討した。その結果、授業活動により強みの認識は即時的に高まり、スタンプ等の簡易な承認であっても自己認知の定着に有効であることが明らかになった。

以上の結果から、教師による肯定的フィードバックは、中学生の強みの認識や精神的健康を支える上で極めて有効であり、多忙な教育現場における実践的な指導指針となり得ることが示唆された。